

提出日： 2026 年 4 月 5 日

研究促進期間制度 研究実績報告書

所属学部・研究科	身分	氏名
戦略経営研究科	教授	新藤 晴臣

研究期間	以下1～4より、取得した研究機関を選択し、該当番号を右欄にご記入ください。	
	1. 2025年4月 1日 ～ 2026年3月31日	4
	2. 2025年9月 1日 ～ 2026年8月31日	
	3. 2025年4月 1日 ～ 2025年9月20日	
	4. 2025年9月21日 ～ 2026年3月31日	
活動報告	研究期間中に実施した研究活動を具体的にご記入ください。 海外活動補助費を受給した方は、海外活動の内容が分かるようにご記入ください。	
	アントレプレナーへの変容要因を明らかにすることを目的とし、①先行研究のレビュー、②インタビュー調査(国内)、③インタビュー調査(海外)を実施した。	
	①先行研究のレビュー 直接関連する分野として、「アントレプレナー役割」について、先行研究のレビューを実施した。また関連分野として、既存企業の管理職からイントラプレナーへの変容を理解するために、起業活動を意味するアントレプレナーシップ、中でも、「戦略的アントレプレナーシップ」について、先行研究のレビューを行った。	
	②インタビュー調査(国内) インタビュー調査(国内)としては、研究促進期間前に実施済である、航空産業におけるイントラプレナーと、シリアルイントラプレナーへのインタビューについて、補完的調査を実施した。また後述する③の一環として、スペイン大使館、カタルーニャ州政府貿易投資事務所へのインタビュー調査を実施した。	
	③インタビュー調査(海外) インタビュー調査(海外)としては、科学者のアントレプレナーへの変容を理解するため、2025 年 12 月に、スペイン・バルセロナの 3 つの大学におけるインキュベーションに対し、インタビュー調査を実施した。	
	なお、2024 年 6 月に提出の「2025 年度 研究促進期間制度 研究計画書」からの変更点としては、①について、先行研究の領域を「アントレプレナーの起業契機」を中心に想定していたが、2025 年前期までに完了したため、周辺領域である「戦略的アントレプレナーシップ」へとシフトさせた。また③について、中国への調査を想定していたが、国際情勢の急激な変化により、調査先をスペイン・バルセロナに変更した。なお調査先の変更に伴う研究資金の不足については、他の学外資金の獲得により支弁を行った。	

得られた研究成果について	上記の研究活動の結果、得られた研究成果についてご記入ください。
	「活動報告」に記載された①～③に関連して、以下の成果が得られた。 ①先行研究のレビュー [著書] 新藤晴臣（近刊）『戦略的アントレプレナーシップ』（仮題）中央経済社（1～3章）。 ②インタビュー調査（国内） [論文] Yokoyama, K., & Shindo, H. (2026). Exploring the Mechanisms of Corporate Social Entrepreneurship: A Case Analysis of Social Business in a Japanese Department Store. In: Galalae, C., Stancu, A., Grigore, G. (eds) Addressing Sustainability Challenges through Social Innovations and CSR Communication. Palgrave Macmillan. [学会発表] 新藤晴臣・和田雅子(2026)「イントラプレナーへの転換点: 航空会社によるLCC創出の事例研究」組織学会研究発表大会(2026年6月20日(土)-21日(日))。 ③インタビュー調査（海外） [論文] 新藤晴臣・木村行雄（2026）「大学インキュベーションによるインパクト・スタートアップの創出: スペイン・バルセロナの事例」『調査情報』No.55。
今後の計画について	得られた成果を踏まえ、今後どのように研究を発展させる計画か、ご記入ください。 「研究成果」に記載された内容をベースに、今後の研究を発展させる。具体的には、①について、4章以降の著書の執筆を行う。②については、[学会発表]の準備を進めるほか、論文または書籍として発表を目指す。③については、調査から得られた知見を活かし、他国の調査を推進する。